

かんせんせいいちょうえん

インフルエンザ・感染性胃腸炎流行中です！

ノロウイルスによる感染性胃腸炎が流行しています。非常に感染力が強いため、要注意です。

ノロウイルスによる感染性胃腸炎の特徴

《症状》 ウイルスが体内に取り込まれてから発症するまでの時間は、12～48時間です。

下痢・吐き気・嘔吐・腹痛・発熱などが主症状で、通常3日以内に回復しますが、ウイルスは感染してから3週間以上、便中に排出され続けることもある。

感染しても症状が出ない人もいますが、便中にはウイルスが排出されています。

《感染経路》

- 人の便中に入ったウイルスが、下水を経て川から海に運ばれ、カキなどの二枚貝の内臓にたまる。それを、十分に加熱しないで食べると感染します。
- 感染した人が、十分に手洗いをせずにウイルスがてについたまま調理や配膳をすると、食品が汚染され、その食品を食べた人が感染します。
- ウイルスに感染した人の便や嘔吐物を処理した後、手についたウイルスや、不適切な処理で残ったウイルスが、口から取り込まれ感染します。
 - 便中や嘔吐物に多くのウイルスが排出されており、感染源となる。
 - 乾燥して、小さな核になり空気中に浮遊した吐物が感染源となる空気感染もある。

《予防》 ノロもインフルエンザも予防法は、手洗い・うがいです！

- 手洗いは、せっけんを使い十分にこすり洗いをし、水であらいながす。
- 手洗いで、手についたウイルスは大幅にすくなくなります。
- 手洗い後は、自分のハンカチやタオルでふく。
- 特に、トイレに行った後、調理の前、食事の前には必ず必ず手洗いをする。
- ノロウイルスによる感染症は、ほとんど、ウイルスに触れた人の手を介して感染が広がります。みんなの手洗いを習慣づけることが、感染予防の基本となります。特に、便や嘔吐物の処理時に手が汚染されやすいので注意が必要です。



おうちのかたへ

便や嘔吐物を処理することでの二次感染の予防が大切です。

●あらかじめ準備しておくもの

使い捨て手袋、マスク、エプロン、かぶせたり、ふきとるための、新聞紙や布・ペーパータオル、ビニール袋、ゴミ袋、次亜塩素酸ナトリウム等

手袋は二重にしておく

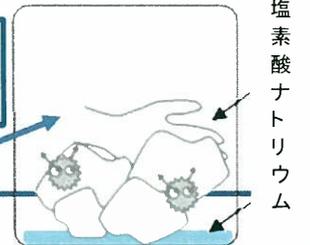


部屋の換気をして、使い捨ての手袋、マスク、エプロンをつける。

新聞紙やペーパータオルなどですっぽりおおうようにかぶせ、上から0.1%次亜塩素酸ナトリウムを汚物が飛び散らないようにまく。



汚物が広がらないように、外から内に向けてよせて包み込むようにしてビニール袋に入れる。同一面でこすると汚染が広がるので注意。



次亜塩素酸ナトリウム

外側のゴム手袋、汚物とふき取りに使ったペーパータオル等は、すべてビニール袋に入れ、外側の手袋も裏返しにとって入れる。0.1%次亜塩素酸ナトリウムをかけて密閉する。

汚物を取り除いた床をペーパータオル等で覆い、0.1%次亜塩素酸ナトリウムをそそぐ。10分程度置いた後、ペーパータオルを取り除き、内側にふきとる。水ぶきをする。



手袋、マスク、エプロンも裏返しにとって、ビニール袋に入れて0.1%次亜塩素酸ナトリウムをそそぎ密閉する。処理後は手をよく洗う。



※参考※《消毒用 次亜塩素酸ナトリウム希釈液の作り方》

●嘔吐物・便などの処理用 0.1%溶液

500mlのペットボトルに水を半分くらい入れておき、そこへ家庭用塩素系漂白剤をペットボトルのふた2杯入れた後、水をペットボトルいっぱいに加える。

《注意事項》

- ・作るとき、使用するときには必ず換気する。
- ・有毒ガスが発生するので、酸性の物と混ぜない。
- ・皮膚についた場合は、すぐに水で洗い流す。
- ・目に入った場合は、十分水洗いした後、受診する。
- ・金属に使用すると錆びることがあるため、消毒後洗い流すかふきとる。